

地域で育む里山の力

今回のほっとTタイムのテーマは「里山再生」。荒れた里山に手を入れ、交流の場としてさまざまな活動を行う菅原秀夫さんと金澤文雄さん、そして市の補助金を活用して有害鳥獣対策に取り組む豊田憲一さんをお迎えし、里山の荒廃から生じる問題やその解決策、里山を活用した取り組みなどについて語っていただきます。



里山が直面している課題

市長 高崎は合併して多くの里山を持つようになりました。豊かな自然を守っていくには大変な努力が必要です。人の手が入らない竹やぶなどに野生動物が住みつき、そこを拠点にして人里に出没し、農作物などに被害が出ていると聞きます。豊田さんは倉渕で有害鳥獣の対策をされて

いるそうですね。どんな活動をされているのですか？

豊田 イノシシなどの被害を防ぐためにわなを仕掛けたり、畑を防護柵で囲んだりしています。でも、根本的な解決にはなっていないですね。

市長 動物も賢いですからね。里山の環境保全に取り組まれている金澤さんや菅原さんの所はどうですか？

金澤 私が住む吉井地域も、昔は養蚕とシイタケの栽培が盛んで山にも人の手が入っていたんです。でも、それがなくなつてから竹がどんどん入つてきて、手が出せない状態になってしまっています。

菅原 私たちの会は30年以上観音山丘陵を中心に活動していますが、まだまだ手の付いていないやぶ地はたくさんあります。下草に隠れた所などの不法投棄は本当にひどい。洗濯機とかも捨てられているんですよ。
市長 大変なご苦労をされていると思います。山を守っていくには、皆さんのような地元の方の力が欠かせません。市も何か応援できることはなにかと、竹やぶなどを整備する団体に最大30万円を助成する「里山元氣



富岡賢治 市長
高崎の美しい里山の風景を守っていくにはどうすればいいか考えている

再生事業」を今年度から始めました。
豊田 ちょうど活動の幅を広げようとしていたので、すぐに申し込みました。刈払い機を借りて、地域の方と協力して作業する費用に充てました。
市長 少しでも皆さんの役に立ててもらえればと思います。

里山を誰もが楽しめる場所に

市長 金澤さんの団体は、荒れた里山に蜜を復活させようという取り組みをされているんですよ。

金澤 はい。一昔前までは蜜はどこにもないんですけど、水路のコンクリート化などで姿を消してしまつたんです。それで里山の環境整備を始めたのですが、今度は切った竹をどうしようかという話になつ

金澤文雄さん



「よいい奥平炭焼倶楽部」を立ち上げ、NPO法人「ふるさと再生ネットワーク」の代表を務める。竹やぶや森林の保全、遊休農地を活用した自然体験を開催している。吉井町上奥平在住。



市外からもボランティアが参加



子どもにも人気のタケノコ掘り

豊田憲一さん



倉渕第2区農用地利用組合で活動し、副組合長を務める。倉渕第2区では、イノシシなどによる農作物被害を防ぐため、市の補助金を活用した有害鳥獣対策に取り組んでいる。倉渕町三ノ倉在住。



荒れたやぶ地があちこちに広がる



整備後は明るくきれいに

菅原秀夫さん



森林ボランティア「高崎里山の会」の副会長を務める。観音山丘陵にある山名地域の市有林を中心に、下草刈りや間伐、植樹などを行い、里山の風景を守る活動を行っている。城山町在住。



伐採した木は炭にして再利用



里山歩きなどのイベントも実施

て。そこで考えたのが炭焼きでした。

市長 これは立派な炭ですね。

金澤 ありがとうございます。地域がきれいになると、今度は多くの人に里山の魅力を知ってもらいたいと思います。みんなでアイデアを出し合っているいろいろなイベントを開催するようにしました。タケノコ掘りや米作り体験などを始めまして、東京から来てくれる親子もいて、すごく喜んで帰っていくんですよ。

市長 最近の親御さんたちは教育熱心ですから、子どもに自然体験をさせたいって気持ち強いんでしょうね。蜜は戻ってきたんですか？
金澤 はい。竹炭で水もきれいになったので、時期になると結構飛んでいます。

市長 それは良かった。菅原さんはどのような活動をされていますか？
菅原 私たちの会の主な取り組みは観音山丘陵の下草刈りや山林の間伐、植樹です。たくさんの人たちに楽しんでもらおうと、炭焼き体験や里山歩きのイベントも開催しています。

市長 皆さんが知恵を出し合って、里山を大事にしている。里山の魅力はもろいんですが、皆さんの努力も宣伝していかないとけませんね。
菅原 観音山にもたくさん自然がありますけど、以前あった遊歩道が荒れて通れなくなっているのはとても残念です。

市長 おっしゃるとおりでね、山名

の方から尾根伝いに観音様を通って少林山まで行ける、これは最高のハイキングコースだと思いますよ。遊歩道の整備はこれから手を付けていくと考えているところです。
菅原 ぜひお願いしたいです。
市長 観音山も倉渕も吉井も、みんな誇るべき資産ですよ。宝物です。里山の景観や風情なんかは一度壊したらもう戻らない。ですから、強い意志を持って取り組んでいかなければいけないんだと思っています。

かけがえのない風景を守る

市長 最後に、今後活動を続けていく中でどういったことを目標にしているか伺います。

金澤 整備を進めることで地域のお荷物だった竹やぶが、人に楽しんでもらえる宝物になりました。もっと人が集まる場所にして、地域を盛り上げていきたいですね。

菅原 癒やしを求めたり、レジャーで楽しんだり里山の楽しみ方はいろいろあります。「里山再生」を旗印に、活動の幅を広げていこうと思います。市の応援もお願いしたいですね。
豊田 里山の整備は長く続けることが大事だと思います。地域と協力して取り組んでいきたいですね。

市長 そうですね。協力して地域の宝を守っていきましょう。本日はありがとうございました。

3人 ありがとうございました。